

1年生

2年生

3年生

春 秋

春 秋

春 秋

- 人間と生物
- 生活と化学
- 医学概論
- スポーツ科学 (春/秋)
- 健康の科学
- 人と宗教
- 人の行動と心理
- 学習とその支援
- 英語会話

人体の構造

細胞の構造と働き

人体の分子的基盤

歯と口腔の構造

歯と口腔の機能

人体の機能

歯と口腔の分子的基盤

人体と口腔の病因病態診断

人体と口腔の感染と免疫

人体と歯科の薬物

歯科衛生士論

臨床歯科総論

健康とその増進

口腔の健康とその増進1

口腔の健康とその増進2

社会制度と歯科・歯科と歴史

歯科と統計手法

歯科予防処置論

歯科予防処置論実習Ⅰ

歯科保健指導論実習Ⅰ

歯科診療補助論実習Ⅰ

歯科予防処置論実習Ⅱ～Ⅳ

歯科保健指導論

歯科保健指導論実習Ⅱ

栄養支援論

栄養支援論実習

歯科診療補助論

歯科と材料

歯科診療補助論実習Ⅱ・Ⅲ

歯科予防処置論実習Ⅴ・Ⅵ

歯科保健指導論実習Ⅲ・Ⅳ

臨床コミュニケーション

硬組織疾患と対応

歯髓疾患と対応

歯周疾患と対応

歯の欠損と対応

歯冠の欠損と対応

口腔の外科疾患と対応

歯列の不正と対応

小児と歯科

歯科と放射線

高齢者・障害者と歯科

歯科臨床英語実習Ⅶ・Ⅷ

歯科英語

歯科臨床英語会話

臨床実習
臨地実習を含む

卒業研究

ホームヘルプサービス

世界の人の歯・口腔の健康と増進

情報処理論

実用英語

歯科医療管理学

口腔保健特論1

口腔保健特論2

看護の技術

先端歯科医療学

歯科衛生士国家試験

専攻科
進学
歯科診療所・病院
歯科・行政・企業

春

秋

専門診療科実習

口腔の健康学

口腔保健管理指導論

洋書講読

歯の進化・人類学

口腔保健管理学

社会歯科学

口腔先端歯科医療学

歯冠・歯列欠損修復学

摂食・嚥下リハビリテーション学

頭頸部の基本構造

成長発育学(顎・顔面)

専攻研究

学位審査(学位授与機構)

学位(学士)取得

病院歯科・歯科診療所・行政・企業・教育機関・進学(大学院)

科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みで、学生が科目の水準や専門性に依りて適切な授業科目を選択し、受講する手助けとなります。

①科目ナンバリングの構成について

科目ナンバリングは、以下の英数字9桁にて表します。

①学科	②学年	③必／選	④方法	⑤分野	⑥連番
F	1	1	1	420	01

(例)「**歯科衛生士論**」の科目ナンバー F111-579-23

①**歯科衛生学科** の ⑤**歯科衛生学関連** 分野の科目で ⑥23 番目、授業は短期大学1年次レベル・③**必修科目**・④**講義形式**で授業を行う。

【ナンバリングの項目とコード】

①科目の設置学科(英字1文字)

F: 歯科衛生学科

②科目の難易度(数字1文字)

1: 短期大学1年次レベル 2: 短期大学2年次レベル 3: 短期大学3年次レベル

③必修・選択の別(数字1文字)

1: 必修科目 2: 選択必修科目

④授業の方法(数字1文字)

1: 講義 2: 演習 3: 実験・実習 4: 外国語 5: 実技
6: 卒業論文 7: 臨床実習

⑤科目分野(数字3文字)

「科目ナンバリング分野一覧」を参照

⑥科目認識番号

科目分野の下に割り当て、学科独自の方法にて表示します。

科目ナンバリング分野コード一覧

H29.11.10

コード	分野	詳細分野
113	宗教学関連	宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学、など
141	英語演習関連	Listening、Oral Communication、Intensive Reading、Writing、Discussion & Debate、など
143	ESP関連	English for Specific Purposes「特定の目的のための英語」、工業英語、医学英語、薬学英語、ビジネス英語、など
281	社会心理学関連	社会心理学一般、自己、集団、態度と行動、感情、対人関係、社会問題、文化、など
283	臨床心理学関連	臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ、など
420	自然科学基礎関連	物理学、化学、生物学、物理学入門、物理学の基礎、化学の基礎、生物学の基礎、物理学実習、化学実習、生物学実習、など
481	解剖学関連	解剖学、組織学、発生学、など
482	生理学関連	一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学、など
484	医化学関連	生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル、など
571	常態系口腔科学関連	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など
572	病態系口腔科学関連	口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学、など
573	保存治療系歯学関連	保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など
574	口腔再生医学および歯科医用工学関連	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など
575	補綴系歯学関連	歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など
576	外科系歯学関連	口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学、など
577	成長および発育系歯学関連	歯科矯正学、小児歯科学、など
578	社会系歯学関連	口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など
579	歯科衛生学関連	歯科衛生士論、歯科予防処置論・歯科予防処置論実習、歯科保健指導論・歯科保健指導論実習、栄養支援論・栄養支援論実習
580	歯科診療補助関連	臨床歯科総論、歯科診療補助論・歯科診療補助論実習

科目ナンバリング分野コード一覧

H29.11.10

コード	分野	詳細分野
581	医療管理学および医療系社会学関連	医療管理学、医療社会学、医学倫理、医療倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政、災害医学、など
583	衛生学および公衆衛生学分野関連:実験系を含まない	衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など
586	臨床看護学関連	重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア、など
592	スポーツ科学関連	スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ医学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、スポーツ心理学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス、アダプテッドスポーツ科学、ドーピング、など
603	統計科学関連	統計学、データサイエンス、モデル化、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計の品質管理、応用統計学、など
621	生命、健康および医療情報学関連	バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、Nコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像、など
842	演習(専門)関連	専門ゼミ、総合セミナー、総合演習、など
845	卒業論文関連	卒業論文
915	医療福祉工学関連	健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、など

科目ナンバリング

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付与し分類することで、学修の段階や順序等を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みで、学生が科目の水準や専門性に依じて適切な授業科目を選択し、受講する手助けとなります。

①科目ナンバリングの構成について

科目ナンバリングは、以下の英数字9桁にて表します。

①学科	②学年	③必／選	④方法	⑤分野	⑥連番
S	4	1	1	578	01

(例)「社会歯科学」の科目ナンバー S411-578-01

①専攻科 の ⑤社会系歯学関連 分野の科目で ⑥01 番目、授業は専攻科レベル・③必修科目・④講義形式で授業を行う。

【ナンバリングの項目とコード】

①科目の設置学科(英字1文字)

S:専攻科

②科目の難易度(数字1文字)

4:専攻科レベル

③必修・選択の別(数字1文字)

1:必修科目

④授業の方法(数字1文字)

1:講義 2:演習 3:実験・実習 4:外国語 5:実技
6:卒業論文 7:臨床実習

⑤科目分野(数字3文字)

「科目ナンバリング分野一覧」を参照

⑥科目認識番号

科目分野の下に割り当て、学科独自の方法にて表示します。

科目ナンバリング分野コード一覧

H29.11.10

最々新コード R3.5.11	分野	詳細分野
143	ESP関連	English for Specific Purposes「特定の目的のための英語」、工業英語、医学英語、薬学英語、ビジネス英語、など
455	自然人類学関連	分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異など、
481	解剖学関連	解剖学、組織学、発生学、など
571	常態系口腔科学関連	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など
573	保存治療系歯学関連	保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など
574	口腔再生医学および歯科医用工学関連	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など
575	補綴系歯学関連	歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など
578	社会系歯学関連	口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など
579	歯科衛生学関連	歯科衛生士論、歯科予防処置論・歯科予防処置論実習、歯科保健指導論・歯科保健指導論実習、栄養支援論・栄養支援論実習
845	卒業論文関連	卒業論文

2023年度生 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 カリキュラムマップ							ディプロマ・ポリシー					
							D-P ① 建学の精神を基に、人々の健康・保持増進に携わる医療人としての使命感と倫理観、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。		D-P ② 幅広い教養を基に、口腔保健の専門的知識、技能、態度を修得し、課題に対し情報の収集、理論的な分析・思考により問題解決することができる。		D-P ③ 歯科医療の専門的知識、技能、態度を修得している。	
							カリキュラム・ポリシー					
C-P 教育内容① 宗教学、心理学、歯科衛生士概論などを通して人間教育やキャリア教育、医療人としての倫理観を学ぶ。さらに臨床の現場において多様な職種の人々と協働することがチーム医療人としてのコミュニケーション能力を修得する。		C-P 教育内容 ② 英語、化学、生物など国際性と科学的な思考力を養うために基礎分野科目を設置する。		C-P 教育内容 ③ 歯科衛生学の専門分野教育では実習・演習を通して口腔保健における問題分析・思考・解決できる能力を養成する。また専門基礎分野、臨床歯科では講義を通して歯学の基礎的・専門的知識を修得し、歯科臨床に繋がる応用力を学ぶ。		C-P 教育内容 ④ 臨床実習教育では、基礎分野、専門基礎分野、専門分野科目で修得した知識、技能、態度を実践に反映することにより、歯科衛生士としての対応能力を養成する。						
部門	分野	指定基準 単位数	ナンバリング	授業科目の名称	必選	年次 配当						
基礎分野 科目 (10単位)	科学的思考の基盤	十	F111-420-01	人間と生物	必	1春		○				
			F111-420-02	生活と化学	必	1春		○				
	F111-113-03		人と宗教	必	1春	○						
	F111-281-04		学習とその支援	必	1春	○						
	F111-281-05		人の行動と心理	必	1春	○						
	F111-621-06		健康の科学	必	1春	○						
外国語	F111-141-07	英語会話	必	1春			○					
専門基礎 分野科目 (22単位)	人体(歯・口腔を除く)の 構造と機能	四	F111-481-08	人体の構造	必	1春			○			
			F111-481-09	細胞の構造と働き	必	1春			○			
			F111-482-10	人体の機能	必	1春			○			
			F111-484-11	人体の分子の基盤	必	1春			○			
	歯・口腔の機能と構造	五	F111-571-12	歯と口腔の構造	必	1春			○			
			F111-571-13	歯と口腔の機能	必	1春			○			
			F111-571-14	歯と口腔の分子の基盤	必	1春			○			
	病気の成り立ちと回復の 促進	六	F111-572-15	人体と口腔の病因病態診断	必	1秋			○			
			F111-572-16	人体と口腔の感染と免疫	必	1秋			○			
			F111-571-17	人体と歯科の薬物	必	1秋			○			
	歯・口腔の健康と予防に 関わる人間と社会の仕組み	七	F111-583-18	健康とその増進	必	1春			○			
			F111-578-19	口腔の健康とその増進1	必	1秋			○			
			F211-578-20	口腔の健康とその増進2	必	2春			○			
			F211-581-21	社会制度と歯科・歯科と歴史	必	2春			○			
			F211-603-22	歯科と統計手法	必	2春			○			
専門分野 科目 (61単位)	歯科衛生士概論	二	F111-579-23	歯科衛生士論	必	1春	○					
	臨床歯科	八	F111-579-24	臨床歯科総論	必	1春				○		
			F111-573-25	硬組織疾患と対応	必	1秋				○		
			F111-573-26	歯髄疾患と対応	必	1秋				○		
			F211-573-27	歯周疾患と対応	必	2春				○		
			F211-575-28	歯の欠損と対応	必	2春				○		
			F211-575-29	歯冠の欠損と対応	必	2春				○		
			F211-576-30	口腔の外科疾患と対応	必	2春				○		
			F211-577-31	歯列の不正と対応	必	2春				○		
			F211-577-32	小児と歯科	必	2春				○		
			F211-576-33	歯科と放射線	必	2春				○		
			F211-575-34	高齢者・障害者と歯科	必	2春				○		
			F111-574-35	歯科と材料	必	1秋			○			
			F214-143-36	歯科英語	必	2春			○			
			F214-143-37	歯科臨床英語会話	必	2秋			○			
	歯科衛生士専門科目	七	F111-579-38	歯科予防処置論	必	1春				○		
			F113-579-39	歯科予防処置論実習Ⅰ	必	1春				○		
			F113-579-40	歯科予防処置論実習Ⅱ	必	1秋				○		
			F113-579-41	歯科予防処置論実習Ⅲ	必	1秋				○		
			F113-579-42	歯科予防処置論実習Ⅳ	必	1秋				○		
			F213-579-43	歯科予防処置論実習Ⅴ	必	2春				○		
			F213-579-44	歯科予防処置論実習Ⅵ	必	2春				○		
			F111-579-45	歯科保健指導論	必	1秋				○		
			F113-579-46	歯科保健指導論実習Ⅰ	必	1春				○		
			F113-579-47	歯科保健指導論実習Ⅱ	必	1秋				○		
			F213-579-48	歯科保健指導論実習Ⅲ	必	2春				○		
			F213-579-49	歯科保健指導論実習Ⅳ	必	2春				○		
			F111-579-50	栄養支援論	必	1秋			○			
			F112-579-51	栄養支援論実習	必	1秋				○		
			F111-580-52	歯科診療補助論	必	1秋				○		
			F113-580-53	歯科診療補助論実習Ⅰ	必	1春				○		
	F113-580-54	歯科診療補助論実習Ⅱ	必	1秋				○				
	F113-580-55	歯科診療補助論実習Ⅲ	必	1秋				○				
	F213-580-56	歯科診療補助論実習Ⅳ	必	2春				○				
F213-580-57	歯科診療補助論実習Ⅴ	必	2春				○					
F213-580-58	歯科診療補助論実習Ⅵ	必	2春				○					
F213-580-59	歯科診療補助論実習Ⅶ	必	2秋				○					
F213-580-60	歯科診療補助論実習Ⅷ	必	2秋				○					
臨床実習	二十	F217-579-62	臨床実習1	必	2秋				○			
		F317-579-63	臨床実習2	必	3春				○			
選択必修 分野科目 (7単位以上)	選択必修分野科目	七	F321-578-64	世界の人々の歯・口腔の健康と増進	選	3秋		○				
			F321-621-65	情報処理論	選	3秋		○				
			F125-592-66	スポーツ科学	選	1春・秋	○					
			F325-915-67	ホームヘルプサービス	選	3秋	○					
			F324-143-68	実用英語	選	3秋		○				
			F321-586-69	看護の技術	選	3秋	○					
			F212-283-70	臨床コミュニケーション論	必	2秋	○					
			F311-578-71	歯科医療管理学	必	3秋				○		
			F311-842-72	口腔保健特論演習1	必	3秋			○			
			F311-842-73	口腔保健特論演習2	必	3秋				○		
			F321-581-74	医学概論	選	3秋	○					
F321-574-75	先端歯科医療学	選	3秋				○					
2単位	卒業研究		F316-845-76	卒業研究	必	3春～3秋		○				

2022年度以前入学 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 カリキュラムマップ							ディプロマ・ポリシー						
							D-P ① 建学の精神を基に、人々の健康・保持増進に携わる医療人としての使命感と倫理観、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。		D-P ② 幅広い教養を基に、口腔保健の専門的知識、技能、態度を修得し、課題に対し情報の収集、理論的な分析・思考により問題解決することができる。		D-P ③ 歯科医療の専門的知識、技能、態度を修得している。		
							カリキュラム・ポリシー						
C-P 教育内容① 宗教学、心理学、歯科衛生士概論などを通して人間教育やキャリア教育、医療人としての倫理観を学ぶ。さらに臨床の現場において多様な職種の人々と協働することがチーム医療人としてのコミュニケーション能力を修得する。		C-P 教育内容 ② 英語、化学、生物など国際性と科学的な思考力を養うために基礎分野科目を設置する。		C-P 教育内容 ③ 歯科衛生学の専門分野教育では実習・演習を通して口腔保健における問題分析・思考・解決できる能力を養成する。また専門基礎分野、臨床歯科では講義を通して歯学の基礎的・専門的知識を修得し、歯科臨床に繋がる応用力を学ぶ。		C-P 教育内容 ④ 臨床実習教育では、基礎分野、専門基礎分野、専門分野科目で修得した知識、技能、態度を実践に反映することにより、歯科衛生士としての対応能力を養成する。							
部門	分野	指定基準 単位数	ナンバリング	授業科目の名称	必選	年次 配当							
基礎分野 科目 (10単位)	科学的思考の基盤	十	F111-420-01	人間と生物	必	1春							
			F111-420-02	生活と化学	必	1春		○					
	F111-113-03		人と宗教	必	1春	○							
	F111-281-04		学習とその支援	必	1春	○							
	F111-281-05		人の行動と心理	必	1春	○							
	F111-621-06		健康の科学	必	1春	○							
	外国語		F111-141-07	英語会話	必	1春		○					
専門基礎 分野科目 (22単位)	人体(歯・口腔を除く)の 構造と機能	四	F111-481-08	人体の構造	必	1春			○				
			F111-481-09	細胞の構造と働き	必	1春			○				
			F111-482-10	人体の機能	必	1春			○				
			F111-484-11	人体の分子の基盤	必	1春			○				
	歯・口腔の機能と構造	五	F111-571-12	歯と口腔の構造	必	1春			○				
			F111-571-13	歯と口腔の機能	必	1春			○				
			F111-571-14	歯と口腔の分子の基盤	必	1春			○				
	病気の成り立ちと回復の 促進	六	F111-572-15	人体と口腔の病因病態診断	必	1秋			○				
			F111-572-16	人体と口腔の感染と免疫	必	1秋			○				
			F111-571-17	人体と歯科の薬物	必	1秋			○				
	歯・口腔の健康と予防に 関わる人間と社会の仕組み	七	F111-583-18	健康とその増進	必	1春			○				
			F111-578-19	口腔の健康とその増進1	必	1秋			○				
			F211-578-20	口腔の健康とその増進2	必	2春			○				
			F211-581-21	社会制度と歯科・歯科と歴史	必	2春			○				
専門分野 科目 (64単位)	歯科衛生士概論	二	F111-579-23	歯科衛生士論	必	1春	○						
			F111-579-24	臨床歯科総論	必	1春			○				
	臨床歯科	八	F111-573-25	硬組織疾患と対応	必	1秋			○				
			F111-573-26	歯髄疾患と対応	必	1秋			○				
			F211-573-27	歯周疾患と対応	必	2春			○				
			F211-575-28	歯の欠損と対応	必	2春			○				
			F211-575-29	歯冠の欠損と対応	必	2春			○				
			F211-576-30	口腔の外科疾患と対応	必	2春			○				
			F211-577-31	歯列の不正と対応	必	2春			○				
			F211-577-32	小児と歯科	必	2春			○				
			F211-576-33	歯科と放射線	必	2春			○				
			F211-575-34	高齢者・障害者と歯科	必	2春			○				
			F111-574-35	歯科と材料	必	1秋			○				
			F214-143-36	歯科英語	必	2春			○				
			F214-143-37	歯科臨床英語会話	必	2秋			○				
			歯科衛生士専門科目	八	F111-579-38	歯科予防処置論	必	1春～1秋			○		
	F113-579-39	歯科予防処置論実習			必	1春～2春			○				
	F111-579-45	歯科保健指導論			必	1秋			○				
	F113-579-46	歯科保健指導論実習			必	1春～2春			○				
	F111-579-50	栄養支援論			必	1秋			○				
	F112-579-51	栄養支援論実習			必	1秋			○				
	臨床実習	九	F111-580-52	歯科診療補助論	必	1秋			○				
F113-580-53			歯科診療補助論実習	必	1春～2秋			○					
F213-579-61			臨床予備実習	必	2秋			○					
F217-579-62			臨床実習1	必	2秋			○					
選択必修 分野科目 (7単位以上)	選択必修分野科目	七	F321-578-64	世界の人々の歯・口腔の健康と増進	選	3春		○					
			F321-621-65	情報処理論	選	3秋		○					
			F125-592-66	スポーツ科学	選	1春・秋	○						
			F325-915-67	ホームヘルプサービス	選	3秋	○						
			F324-143-68	実用英語	選	3秋		○					
			F321-586-69	看護の技術	選	3秋	○						
			F212-283-70	臨床コミュニケーション論	必	2秋	○						
			F311-578-71	歯科医療管理学	必	3秋			○				
			F311-842-72	口腔保健特論演習1	必	3秋			○				
			F311-842-73	口腔保健特論演習2	必	3秋			○				
			F321-581-74	医学概論	選	3秋	○						
			F321-574-75	先端歯科医療学	選	3秋			○				
			2単位	卒業研究		F316-845-76	卒業研究	必	3通年		○		

2023年度 愛知学院大学短期大学部専攻科 カリキュラムマップ							ディプロマ・ポリシー					
							D-P ① 建学の精神を基に、人々の健康生活を実現するため、医療従事者としての使命感と倫理観、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を活かし、リーダーシップを発揮することが	D-P ② 口腔保健の役割と重要性を理解し、科学的探究心と問題解決能力、生涯学習能力、自己決定能力を身につけている。	D-P ③ 口腔保健学を専門とする研究者、教育者、臨床家として必要な能力を修得し、発展向上させることができる。			
							カリキュラム・ポリシー					
C-P 教育内容① 専攻科目の講義、実習科目などを通して、思春期で他者の心情と行動を理解した倫理観を学ぶ、さらに、多様な職種の人々と協働することができるチーム医療人としてのコミュニケーション能力を臨床実習の実践で活かし、リーダーシップ能力を修得する。							C-P 教育内容 ② 口腔保健学の役割を修得するため、専攻科目にA群(講義・演習科目)とB群(実習科目)、関連科目、専攻に係る科目として洋書講読を設置する。さらに、専攻研究として独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に提出する論文作成により科学的探究心と問題解決能力、生涯学習能力、自己決定能力を修得する。		C-P 教育内容 ③ 口腔保健学の専攻研究科目で修得した高度な専門知識と技能を学内外での学修発表を実践し、研究者、教育者、臨床家としての能力を修得する。			
部門		分野	ナンバリング	科目名	必修	年次配当						
専攻科目	A群(講義・演習科目)	口腔保健衛生学概論に関する科目	S411-578-01	社会歯科学	必	秋			○			
		臨床歯科医学に関する科目	S411-573-02	歯冠・歯列欠損修復学	必	秋					○	
			S411-481-03	成長発育学(顎・顔面)	必	秋				○		
		口腔疾患予防学に関する科目	S411-578-04	口腔の健康学	必	春				○		
		口腔保健指導に関する科目	S411-579-05	口腔保健管理指導論	必	春	○					
			S411-579-06	口腔保健管理学	必	秋			○			
		歯科診療補助に関する科目	S411-574-07	口腔先端歯科医療学	必	秋					○	
		S411-575-08	摂食・嚥下リハビリテーション学	必	秋						○	
S416-845-09	専攻研究	必	通年						○			
専攻科目	B群(実習科目)	口腔保健衛生学に関する実習科目	S417-579-10	専門診療科実習	必	通年				○		
関連科目			S411-571-11	頭頸部の基本構造	必	秋		○				
			S411-455-12	歯の進化・人類学	必	春		○				
専攻に係る単位以外の科目			S411-143-13	洋書講読	必	春			○			